

中学校

#### 情報活用能力としてのねらい

### 活用できる教科や学習活動

#### A6:アンケート

・集計・分析できるように適切な 設問や選択肢を作成できる 特別活動「適切なアンケートを作ろう」

その他、国語や総合的な学習の時間、生徒会活動等で、アンケートを作成すると きに活用

# 特別活動「適切なアンケートを作ろう」

適切なアンケートを作成し、実態を把握することは正確に情報を把握するためには重要である。また、中学校生活においてアンケートを生徒自身が作成する機会は多い。そこで、適切にアンケートを作成するスキルの向上を図りたい。

#### 

#### 1. 考えてみよう

#### 調べる計画を立てよう

- ・アンケートの質問文と選択肢について考える。
- ・アンケートに答えてもらうことを考えて、計画を作る。
- ・テーマについて考えさせる。
- ・テーマは、候補をいくつか考えておくように 指導する。
- ・スキルポイント①を参照させ、計画について 指導する。
- ・「何人が答えたか」は、アンケート実施後の 記録になるので、今は無記入で良いことを指 導する。

#### 2. 考えてみよう

## 質問と選択肢を考えてみよう

- ・アンケートをとる相手、場所、回収方法など、アンケートをより多く収集し、集計するための工夫を考える。
- ・スキルポイント②を参照しながらアンケート 内容を考えさせる。

#### 発展:アンケートを集計してみよう

集めたアンケートを集計してみよう

- ・集計時には、エクセル等の表計算ソフトを使い、効率的に集計する方法を指導する。
- ・集計時のことを考えて、作成時に回答や選択 肢に通し番号を付けておくことを指導する。

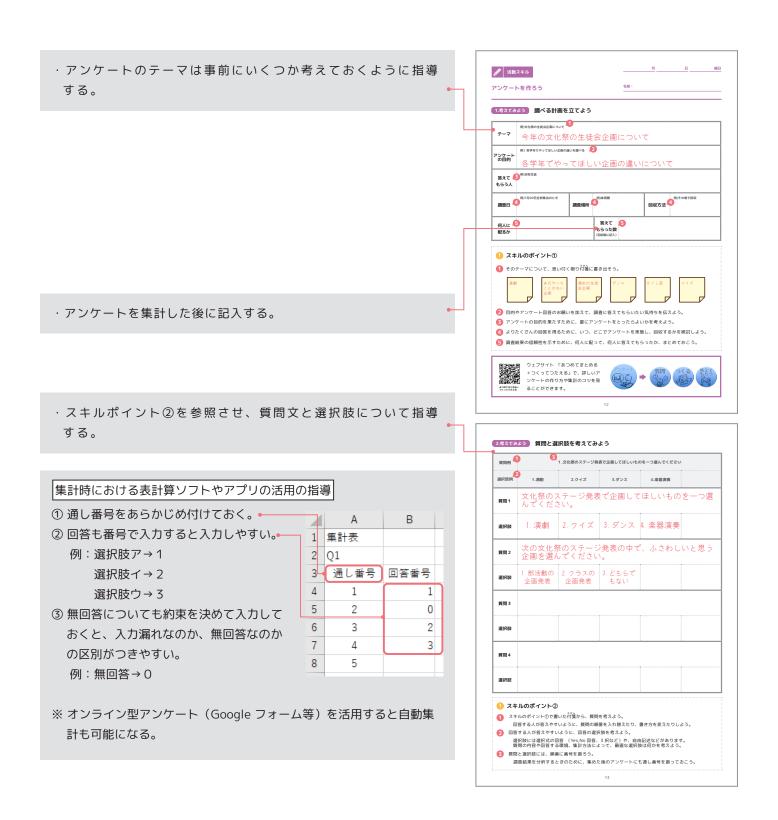
#### ・ 必要となるICT機器

### ウェブ検索が可能なパソコンまたはタブレット端末

1人1台、ペアで1台、グループで1台など、学習のねらいに応じて活用する。

# ● 機器活用のポイント

表計算ソフトやアプリを活用しての集計時には、「回答に通し番号を付けること」等を事前に指導しておく。



# アドバイザーのコメント

新学習指導要領では数学のデータ活用領域が強化されました。活動スキル【アンケート】は、集計・分析のもととなるデータの集め方の精度を高めます。明らかにしたいことに対して適切な設問をつくり、設問文によるデータの偏りや、選択肢の抜けを防ぎましょう。また、設問は答える立場になって考えることが重要です。例示した特別活動だけでなく、国語や総合的な学習の時間で活用することもできます。また、集計する際に表計算ソフトを活用したり、オンライン型アンケートを活用したりすると、大量のデータであっても集計に時間をかけずに、結果の読み取りや分析をすることができます。